

大会テーマ：未来を切り拓く学びとアクティブ・ラーニング

今大会では、2020年から始まる学習指導要領、高大接続改革、など教育の大きな展開期を迎えた今、小学校から中等教育、高等教育の現場がどのように「教育改革」に対応すべきかを考え、さらに先進的な学校現場の取組や小中、中高、高大連携の取組に着目し、2030年に向けた「未来を切り拓く」学びを実現するためのアクティブ・ラーニングの可能性を探求します。

◆会場：神田外語大学 8号館 〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 1-4-1

●最寄り駅から

JR 京葉線「海浜幕張駅」徒歩約15分／京成バス約5分

JR 総武線「幕張駅」徒歩約20分 京成電鉄「幕張駅」徒歩約15分

JR 総武線「幕張本郷駅」／京成電鉄「幕張本郷駅」より京成バス約10分

◆日程 2019年3月10日(日) 10:15～17:30(受付9:30～ 情報交換会18:00～20:00)

◆参加費 当日参加費：4,000円(会員・一般とも)

情報交換会：事前申込：3,000円 当日：3,500円

主催：日本アクティブ・ラーニング学会

共催：日本STEM教育学会

後援：経済産業省

協力：神田外語大学



ゲスト WiFi の接続方法

1. kuis-guest に接続
2. Web 認証画面が表示されたら、ID とパスワードを入力してください。

ID: jals (ジェイ・エイ・エル・エス)
パスワード: 20190310

*Web 認証画面が表示されない場合は、一度ブラウザを閉じて、再度立ち上げてみてください。それでも表示されない場合は、種類の異なるブラウザで試してみてください。

タイムスケジュール

09:30	受付
10:15	開会式(全体会挨拶) 8号館中央ステージ
10:30～11:50	基調講演 8号館中央ステージ 「新学習指導要領における主体的・対話的で深い学び」 奈須正裕氏(上智大学 総合人間科学部 教育学科 教授)
12:00～12:45	特別セッション 8号館中央ステージ 「未来の教室実証事業とアクティブ・ラーニング」 浅野大介氏(経済産業省商務・サービスグループサービス政策課長(兼)教育産業室長)
12:45～13:30	総会 8号館中央ステージ
12:30～13:45	企業展示 8号館オープンスペース
13:30～14:30	ポスターセッション・コアタイム 8号館オープンスペース
13:45～14:30	企業PRセッション 8号館中央ステージ
14:45～16:00	口頭発表&部会・分科会セッション1 8-101～105 教室
16:15～17:30	口頭発表&部会・分科会セッション2 8-101～105 教室
18:00～20:00	情報交換会@神田外語大学アジアン食堂「食神」

第3回全国大会

Japan Active Learners Society

日本アクティブ・ラーニング学会

大会テーマ：未来を切り拓く学びとアクティブ・ラーニング

プログラム

2019年 3月 10日(日) 10:15～17:30
神田外語大学

セッションプログラム 2019年3月6日現在

口頭発表セッション1 (14:45-16:00)

【リフレクション・評価】1-A 8-101 教室

《研究発表》

14:45-15:10 海老沢穰（東京都立石神井特別支援学校）、山田高晃（東京都立石神井特別支援学校）
「特別支援学校におけるICTを活用したプロジェクト型学習の実践ー映像制作の授業にルーブリックとリフレクションを取り入れた試みー」

15:10-15:35 山下雄生（（株）ベネッセコーポレーション）、杉山恵理（（株）ベネッセコーポレーション）、井庭崇（慶應義塾大学）
「探究学習のためのパターン・ランゲージ」の研究開発について

《報告・提案》

15:35-16:00 大廣光文（明德学園相洋中高等学校）
「学習意欲を引き出すパフォーマンス課題と定期考査における評価の試み」

【ICT・ジェネリックスキル】1-B 8-102 教室

《報告・提案》

14:45-15:10 藤田伸輔（千葉大学予防医学センター）
「小学5年生から高校3年生を対象とした医療・コンピュータセミナー」

15:10-15:35 後藤和也（山形県立米沢女子短期大学）
「学生のジェネリックスキル育成を目指したアクティブ・ラーニング型キャリア科目の開発」

15:35-16:00 西美都子（京都大学）
「アクティブラーニング型授業によるジェネリックスキル育成の実践と報告」

【グローバル・SDGs】1-C 8-103 教室

《研究発表》

14:45-15:10 林傑暁（武蔵野大学大学院）、荒木貴之（武蔵野大学大学院）、櫻井千佳子（武蔵野大学大学院）
「中国と日本の中学校英語教科書の比較ー異文化理解とアクティブ・ラーニングを中心にー」

15:10-15:35 井上泉（沖縄国際大学）
「問題解決学習を中心としたAL学習設計の意義と課題」

15:35-16:00 村山史世（麻布大学）
「SDGsレンズで※※を見ること」

口頭発表セッション2 (16:15-17:30)

【理論】2-A 8-101 教室

《研究発表》

16:15-16:40 吉田英彰（花巻市立東和小学校・東北大学大学院教育学研究科博士課程後期）
「アクティブラーニングを促す見通しの検討 ～自己調整学習の予見研究からの考察～」

16:40-17:05 青木太郎（日本BLS協会）
「アクティブラーニングに利用できるインストラクショナルデザイン三大原理の紹介～ARCS学習意欲の原理～」

17:05-17:30 山本純慈（玉川大学文学部国語教育学科）「K・Jガーゲンの社会構成主義から改めて「TOKとは何か」を考える」

【ICT活用】2-B 8-102 教室

《研究発表》

16:15-16:40 西誠（金沢工業大学）
「ビデオ教材を使った数理科目の反転授業とアクティブ・ラーニングの実践」

《報告・提案》

16:40-17:05 松波紀幸（帝京大学）
「学習者が主体的に学習指導要領解説等を読み解く手法に関する提案 - テキストマイニングを用いて -」

17:05-17:30 佐藤裕幸（学校法人石川義塾）、三堀将寛（株式会社デジタル・ナレッジ）
「遠隔会議システム Zoom」を利用した遠隔授業の実施とクラウド利用による「反転・復習・演習動画配信」の実践によるメリットと今後の課題」

【地域連携】2-C 8-103 教室

《研究発表》

16:15-16:40 勝俣文子（玉川大学／加藤学園暁秀中学校・高等学校）
「郷土学習と短歌創作を組み合わせた小学生のアクティブ・ラーニング」

《報告・提案》

16:40-17:05 崔瑛（静岡英和学院大学）、坂野真帆（静岡英和学院大学）
「アクティブ・ラーニングとしての着地型旅行商品の企画と実施 - 大学における実践的観光教育の取り組み -」

「チャレンジ教育部会」セッション (14:45-16:00, 16:15-17:30) 8-104 教室

《報告・提案》

14:55-15:15 米田敬子（文教大学生生活科学研究所）、一円尚（開智日本橋学園中学校）、高橋真義（東日本国際大学）、内田喜巳男（開智日本橋学園中学校）
「自己表現と他者意識についての一考察ー「自己表現・評価トレーニング」の実践からー」

《研究発表》

15:15-15:35 杉原亨（関東学院大学）、本田卓也（関東学院大学）、望月翔太（関東学院大学）
「SDGsに関する高校生向け教育プログラムの開発」

《報告・提案》

15:35-15:55 石川陽子（aileron）竹丸勇二（ヒューマンアカデミー日本語学校）、加藤礼菜（ヒューマンアカデミー日本語学校）
「日本語初級レベルからトレーニングーアクティブラーニングで日本語習得ー」

16:15-16:35 難波俊樹（東京富士大学）
「アクティブ・ラーニングで学ぶべき知識のありかた」

16:35-16:55 鷲北貴史（東京経済大学他）
「続・続・アクティブは愛。志高き実践こそチャレンジ部会のmission」

17:00-17:30 パネルディスカッション

【イノベーションスクール分科会セッション】14:45-16:00 8-105 教室

ポートフォリオによる学びのプロセスの評価と高大接続～ OECD 日本イノベーション教育ネットワークの事例から
登壇者：時任隼平（関西学院大学）、花井渉（大学入試センター）、依田新（岡

山龍谷高校）、下郡啓夫（函館高専）、小村俊平（OECD 日本イノベーション教育ネットワーク）

【SDGs 研究部会セッション】16:15-17:30 8-105 教室

近未来を見すえた、チェンジ・メイカーづくりのアクティブラーニング・プロジェクト、「プラチナマイスター・アカデミー」を体感しよう！
担当：杉浦正吾（プラチナマイスター・武蔵野大学）、荒木貴之（武蔵野大学）

【ポスターセッション】コアタイム：13:30-14:30 (予定)

P-1 岩崎日出夫（東海大学）
「可搬型端末を用いた大学のプログラミング教育の検討ースマートフォンによるプログラミングの導入ー」

P-2 荒木貴之（武蔵野大学）
「学習の到達度に与える影響に着目した教員研修に関する考察ーアクティブ・ラーニングの実践を通してー」

P-3 中嶋克成（徳山大学）、寺田篤史（徳山大学）、羽田司（徳山大学）、庄司一也（帝京平成大学）
「四年間を通じたPBL体系の実践ー地域ゼミを中心としてー」

P-4 野澤宏光（栃木県立黒磯南高等学校）
「高校日本史における「2ターム授業」の実践報告」

P-5 荒木薫（佐賀大学ダイバーシティ推進室）
「中高大連携事業による女子学生への理系進路選択支援とキャリア教育 - 継続・育成型リケジョプラットフォーム in SAGA」

P-6 難波俊樹（東京富士大学）、江崎和博（一般社団法人世界品質戦略研究所）、光藤昭雄（日本プロジェクトマネジメント協会）
「学校教育に向けたPBLの概念」

P-7 永野篤（聖和学園短期大学）、堀良平（聖和学園短期大学）
「Seven Principles for Good Practice in Undergraduate Education をベースにした教職員協働のキャリア教育実践の検証と短期大学生への応用の有効性について」

P-8 崔瑛（静岡英和学院大学）
「用宗港なぎさ市のPRツールの開発」

企業展示 (50音順)

賛助会員企業

(株)朝日出版社	English Central
(株)内田洋行	エム・ティ・プランニング (株)
コスモピア (株)	ジョイズ (株)
(株)すららネット	セイコーソリューションズ (株)
(株)ソフトバンク	(株)日教販
(株)文英堂	(株)ベネッセコーポレーション

一般企業

シャープ (株)	(株)Z会ソリューションズ
----------	---------------